

特集

質的研究と研究倫理

研究を育てる倫理の在り方再考

新たな質的データと研究倫理

—— 研究を育てる倫理の在り方再考 坂井志織 422

質的研究の倫理を問い直す —— 画一的なルールを超えて

田代志門 429

研究倫理審査後の研究倫理

—— ダイナミックな研究の過程での倫理的配慮に向けて 細野知子 437

質的研究における ARO 的な研究支援の可能性

—— 研究倫理審査委員会の運営経験者の立場から 北尾良太 444

事例研究にまつわる研究倫理の課題

—— 「ケアの意味を見つめる事例研究」を中心に 雨宮有子, 山花令子, 山本則子 452

認知症の発症前予測・予防の ELSI と研究倫理

木矢幸孝 459

質的研究において保障していくべき研究倫理とは？

河原智江 466

研究倫理とケアの倫理

—— 看護系大学における研究倫理審査外部委員の経験から 榊原哲也 472

特別記事 現象学的研究の成果を伝えるための論文投稿【査読対応編】
—— 採択に向けた Tips 棚川綾子 484

連載 看護実践モデルの構築・評価・改善 —— その方法とプロセス・8
言語的表現が困難な脳性麻痺を有する子どもの痛み
緩和ケアの開発と実践 —— 実践モデルの構築に向けて 河俣あゆみ 496

集まる つながる 広がる 若手研究者のバトン・37
基礎研究を通して、「まだ誰も見たことのない世界」の
発見をめざす 丹野寛大 413

INFORMATION 482

今月の本 494

バックナンバー 505

次号予告・編集後記 506